

薬物乱用 Q & A

Q.1 大麻は安全で無害であると聞きましたが、本当ですか？	大麻は脳に影響を与える違法な薬物です。 大麻の乱用は、青少年期に構築される脳・神経系の正常な発達及び成熟に障害を起こす可能性が強く示唆されています。間違った情報に流されずに、正しい知識で判断しましょう。 
Q.2 一度だけなら大丈夫と聞きましたが、本当ですか？ 	そんなことはありません。 個人差はありますが、一度の乱用で快感を覚え、依存症になり、自分の意志ではやめられなくなってしまいます。法律で禁止されていて、一度だけでも罰せられます。「一度くらいなら」という安易な気持ちが取り返しのつかないことになります。 
Q.3 友人に薬物をすすめられたら、どう対応すればいいですか？	きっぱり「イヤだ!」と断りましょう。 「友達に嫌われるから」と思っても、はっきり「No」と断るべきです。友達からどう思われても、自分の身体、自分の一生を大切にしましょう。少しでも危ないと思ったら、「はっきり断る」「逃げる」勇気を持ちましょう。 
Q.4 いわゆる「オーバードーズ」をしてみたい気持ちになったら、どうしたらいいですか？	誰かに相談してみましょう。 もしかして、つらい気持ちや、嫌なことがあったり、なんだかもやもやしていたり…そんな気持ちや生きづらさを感じていませんか？ つらい気持ちや嫌なことを誰かに話してみたり、困っていることを相談してみたりすると、そんな状況が少し変わるかもしれません。 一人で悩まずに下記の相談窓口にご相談してみませんか？

早目に相談・早目に解決

- 岡山県覚醒剤等薬物乱用対策推進本部
〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6
(岡山県保健医療部医薬安全課内)
Tel(086) 226-7341

●覚醒剤110番
〒700-0824 岡山市北区内山下2-4-6
(岡山県警察本部刑事部組織犯罪対策第二課)
Tel(086) 233-7867

●厚生労働省中国四国厚生局麻薬取締部
〒730-0012 広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎4号館15階
「麻薬・覚醒剤相談専用電話」
Tel(082) 228-8974
- 岡山県精神保健福祉センター
〒700-0985 岡山市北区厚生町3-3-1
「心の電話相談」
Tel(086) 201-0828

●岡山市こころの健康センター
〒700-8546 岡山市北区鹿田町1-1-1
Tel(086) 803-1273

●お近くの保健所でも相談に応じています。



大麻乱用防止啓発用マンガ動画
「やまと」と「なおか」
～戻れない道 進みますか?～



発行年月: 令和7年9月

君を救うのは違法薬物じゃない



▲岡山県立倉敷青陵高等学校 2年 坂本 彩さんの作品





薬物乱用の現状

令和6年中の全国の覚醒剤事犯での検挙人員は6,306人で、麻薬・向精神薬事犯での検挙人員は1,390人と過去10年で最多を記録しました。

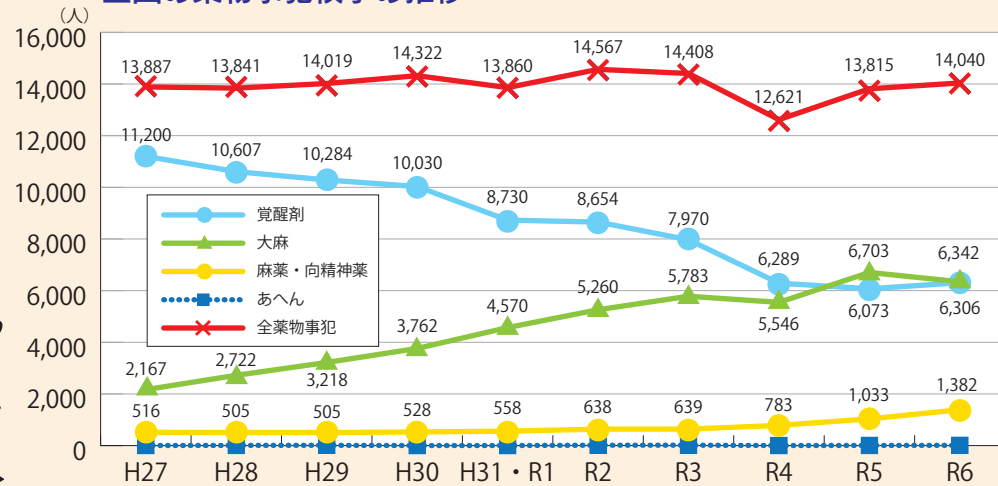
さらに大麻事犯の検挙人員は6,342人と高い水準で推移し、その約7割が30歳未満となっており、若年層を中心に大麻の乱用の裾野が拡大しております。

岡山県においても同様にそれぞれに高い水準で推移しています。

県内の主な薬物事犯の検挙者（人）

	覚醒剤	大麻	麻薬
令和2年	117	62	7
令和3年	90	83	8
令和4年	81	99	6
令和5年	70	106	7
令和6年	72	97	4

全国の薬物事犯検挙の推移



主な乱用薬物

大麻（マリファナ） 	大麻草の葉を乾燥させたものや樹脂で固めたもので、幻覚や多幸感を得ることを目的に乱用されている。 乱用すると、知覚を変化させ、パニックを引き起こすこともある。 乱用を続けると、学習能力の低下、記憶障害、人格変化を起こす。
覚醒剤 	気分の高揚や多幸感を得ることを目的に、注射、液体の飲用、又は加熱によるガス吸引により乱用されている。 乱用薬物の中でも特に依存性が強く、幻覚や幻想が現れ、中毒性精神病になりやすい。大量に摂取すると、急性中毒で死に至ることもある。 また、使用をやめても再燃（フラッシュバック）することがある。
MDMA 	化学的に合成された麻薬で、カラフルに着色され、文字や絵柄の刻印が入った錠剤の形で密売されている。 覚醒剤と幻覚剤の両方の作用を持ち、乱用すると混乱、睡眠障害、不安感等が生じ、何週間も持続することがある。大量に摂取すると高体温になり死に至ることがある。
向精神薬（睡眠薬、抗不安薬など） 	医師が治療のため処方し、指示通り服用することは乱用に該当しないが、一時的な快感を求めて、指示された用法・用量を守らずに服用すると薬物乱用になる。 一定量以上服用したり、アルコールと一緒に服用すると、昏睡状態や死を招くことがある。
危険ドラッグ 	大麻に類似した未規制成分などを含む「グミ」や「リキッド」などが、合法と称して販売されており、身体にどのような影響があるか分からず、大変危険である。



大麻の乱用が拡大しています

令和6年の全国における大麻事犯の検挙人員は、6,342人と高い水準で推移しています。

大麻は、「身体への悪影響がない」「依存性がない」というのは間違いです。

大麻は、脳の知的機能や記憶の形成を司る部位に悪影響を及ぼすなど、さまざまな不具合を引き起こす違法な薬物です。

間違った情報に流されず、正しい知識で判断しましょう。

大麻に関する誤った情報に注意

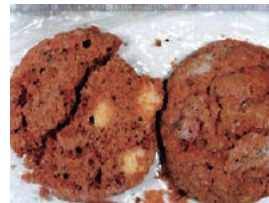
- 大麻は安全、無害だ
- タバコや酒より安全
- 世界で大麻は合法

全て誤りです

大麻成分入りの食品に注意

海外では、大麻成分入りのクッキー、チョコ等の食品が販売されています。

海外旅行や海外留学で渡航する際には、誤って口にしたり、国内に持ち帰ろうとすることがないように注意が必要です。



大麻成分入りクッキー



大麻成分入りチョコ



薬物乱用のきっかけ

同級生や身近な人々に勧められたり、海外旅行先で遊び半分に使用、また偶然行ったパーティーで使用したり、誘いの言葉に乗せられたり…。好奇心や仲間意識から安易な気持ちで薬物依存に染まってしまいます。

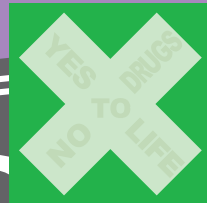
つい乗せられないように勇気を持って断ることが大切です。

あいまいな断り方では、「強く誘えば断れない」と相手に思わせてしまうので、**「はっきり、きっぱり」断ることがポイント**です。何回誘ってきても、態度を変えてはいけません。

また、誘われてしまっている状態から抜け出すため、その場から立ち去るということも重要です。

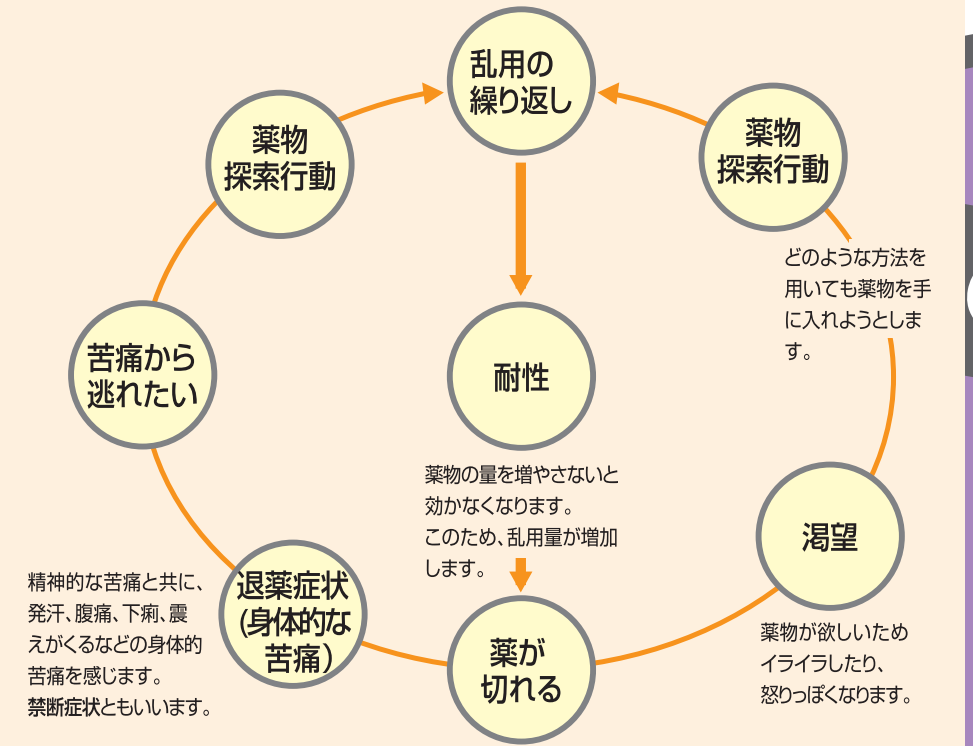


- 甘い言葉に騙される
- グループ意識から
- ゆうつから逃れたい
- 好奇心とあこがれ



乱用される薬物は、いずれも依存性があります。

薬物を使用すると自力ではなかなかやめられず、何度も繰り返すことになります。



医薬品 過量服薬(オーバードーズ)

法律によって承認された医薬品は、病気やけがの治療を目的としていて、その取扱いや使用目的・方法には、明確なルールが定められていますのでそれ以外で使用すれば乱用となります。医薬品は用法用量を守り、適切に使用しましょう。医薬品を、決められた量を超えてたくさん飲んでしまうことを指してオーバードーズ(OD)と言われています。特に最近、かぜ薬や咳止め薬などの市販薬を、症状を抑える以外の目的で大量に服用するケースが若者の間に広がっています。オーバードーズは健康被害を引き起こすなど大変危険です。

